

X009

- T: はい、こんにちは、【T】です。
- I: はい、こんにちは、*, 【I (フルネーム)】です。
- T: 【I】さんですか、はい。
えー、と、わたし【I】さんのこと全然知らないので〈うん〉、ちょっと自己紹介を簡単にさせていただけますか？。
- I: あー、ぼくは15歳で〈うん〉、なんか、こう、うーん、どう紹介すればいいのかな、趣味は〈はい〉、なんか、サッカーと〈はい〉卓球。
で、あん、もう、なんか、、、好きなことは〈うん〉、もう、ゲームと本。
あと、しょらい [将来] のよ [夢] は、あー、エンジニアになること。
- T: はい、わかりました。
住んでいるのは近いんですか、こっから？。
- I: あー、ち、すごく遠いです。
- T: そうですか。
- I: あの、もう、あ…
- T: なんていうところですか？。
- I: あ、あの、車で30分ぐらい。
- T: はい、えーと、電車ではふつう来ないんですか？。
- I: 来ないです。
あも、あの、あの、あんまり難しいところに住む。
- T: あー、そうですか。
なんていうところなんですか？。
- I: 【地名1】。
- T: あ、【地名1】市〈うん〉。
【地名1】市はどんなところなんですか？。
- I: あの、すごく、田んぼだけがある {笑} 〈ふーん〉。
あんまり何も無いところに。
- T: で、えー、毎日【学校名1】に？。
- I: はい。
- T: じゃ、ちょっと、あの一、【I】さんの1日を教えてください。
どんな生活、朝起きてから？。
- I: あの、7時半ぐらいにここに来て〈はいはい〉、8時15ぶん [分] に、びんきから勉強して〈うん〉、ずっと3時半まで勉強して、それで、あの、月、月、火、す、月、火、す、金〈はい〉と、あん、日本語の勉強します。
あの、5時から6時まで〈はい〉。
あの、去年は〈はい〉、んー、なんか、水曜日で〈うん〉、9時までやった、日本語の勉強。
- T: 9時まで？。
- I: うん。
- T: えーと、さっき5時から6時と仰ったけど。
- I: うん、そ…
- T: 5時から9時まで。
- I: うん、水曜日だけ〈ほー〉。
だから、あの、能力試験の勉強のために。
- T: そうですか。
能力試験何級ですか？。
- I: あ、3級受けました。
- T: そうですか。
あれ、そろそろ発表…
- I: あ、きよ、あの、去年は2級だったけど、もう、不合格だった。
- T: うん、今年は？。
- I: 今年は目標は、いちゆうだけど。

X009

- T: まだ来てないんですか？。
- I: うん。
- T: はい、え、あの、発表がありましたよね？。
- I: あー。
- T: それは、まだ？。
- I: まだ。
- T: そうですか、わかりました、はい。
えーと、あの、趣味はサッカーって仰ってたんですけど〈はい〉、えと、サッカーの一番面白いところって
いうか、楽しい点はどんなところですか？。
- I: あの、あ、チームワークのこと〈あー〉。
だから、みんなで楽しむことができるから。
- T: はー、そうですね。
でも、大変ですよ。
- I: うん、そこ〈うん〉、難しいだから。
- T: ちょっとルール忘れちゃったんですけど、詳しく教えてください。
- I: あー、なんとか、ルールはちょっと、あんまりわからないけど、でも〈うん〉大好き。
- T: ふーん、そうですか、はい。
あと、サッカー以外によくテレビとかも見ますか？。
- I: 見ませんです。
- T: 見ませんか。
- I: あの、やるだけが好きだから、見ることは…
- T: あ、そうですか。
あ、見は、見ることはしない。
- I: うん。
- T: わかりました。
で、テレビでほかのドラマだとか、なんか、そんなの見たりしますか？。
- I: あ、見ない、見ません。
- T: あー、そうですか、わかりました。
で、えーと、じゃ、あと、何が好きですか、本とか、漫画とか、はい。
- I: 漫画はあんまり読めない、です。
- T: 本はどうですか？。
- I: 本はポルトガル語の本だけ。
- T: はー。
でもポルトガル語の本よく読むんですか？。
- I: うん、1か月に本は2、2つぐらい。
- T: あー、2冊読むんですか〈うん〉。
あー、いいですね、それはね、えーと〈いや〉。
1か月に2冊〈ん〉。
じゃ、最近読んだ本はなんですか？
- I: あの、、、、うーん、し、死んでるの人だから、なんか〈うん〉。
それで、死んだ、死んでいたままで、歩いて、なんとか、なんか。
- T: え、面白そう。
ちょっと、そこ、ストーリーを教えてください。
どんな話ですか？。
- I: 生きてない、生きてないけど〈うん、うん〉、でも、動いた。
でも人の頭だけに動いたけど〈うん〉、あの、本当に覚えてない。
- T: えー、どういうことですか？。
- I: とっても難しいです。
- T: 難しい。
ちょっと、もうちょっと教えてください。

X009

- I : あ、その人は、あの、とてもいい人だった〈うん、うん〉。
 それで〈うん〉、どか〈うん〉、あ、あとで、なんか、酒飲んで、ふとんとか、パチンコに行って、なんか、わる、悪くなった〈うん〉。
 それで〈うん〉、死んでいて、家族はまだ死んだことないと思った〈うん〉。
 それで頭のなか生きている、た、と思った。
 その話、その話続いている。
- T : ほー、そうですか、なるほどね、はい、えー、わかりました。
 あのー、ちょっと、ご家族のこと聞いてもいいですか〈うん〉。
 はい、何人家族で、だ、誰がいますか？。
- I : 4人です〈はい〉。
 お父さんとお母さんと妹です。
- T : ふーん、妹さんはどんな人か、ちょっと、説明してください。
- I : 妹は{笑}？。
- T : どんな人？。
- I : うるさい、です。
- T : それから？。
- I : うん、あの、優しいけど、なんだか、ちょっと、ひどい、ひどいときがある。
- T : 例えば、その、ひどいときをちょっと、1つだけ教えてください。
- I : あ、あ、掃除やれとかなんとか、俺はぜんぜんやる気が無いから。
- T : うーん、あ、家事はみんなで作るんですか？。
- I : うん。
- T : ほー、そ、いいですね。
 じゃ、お料理は？。
- I : あ、料理は妹が作るけど、僕も作る。
- T : は、【I】さんも作りますか〈うん〉。
 じゃ、得意料理はなんですか？。
- I : 得意料理。
 なんとか、ステーキだけ〈うん〉。
 それはふつうにする〈うん、うん〉。
 豆とかそれはまだ〈うーん〉ぜんぜん上手くない。
- T : あー、作るけど〈うん〉。
 わかりました。
 えーと、ブラジル料理でお勧めの料理ってなんですか？。
- I : うん、フェイジョアーダ〈ふーん〉。
 あの、こ、黒豆と〈はい〉なんとか、豚となんとか、豚の肉いっぱいあるけど〈はー〉、あの、すごくおいしい。
- T : ちょっと、そのね、作り方じゃなくていいんですけど、どんな料理で、どんな味がするかを教えてください。
- I : あ、ちょっと〈うん、うん〉しょっぱいと〈うん〉、重いと。
- T : ん？。
- I : 重い感じがする。
- T : 重い。
 料理で重い感じなんですか。
- I : あの、食べるときは、ちょっと、あなか[お腹]がすぐにいっぱい。
- T : はー、すぐにいっぱいになった感じ。
 はー、それからあとは、うん〈うん〉。
 まだちょっとイメージが、うん。
 それで、うん。
- I : あの、ご飯と食べる、ソースみたい。
- T : あー、ご飯にかけるんですか？。

X009

- I : うん。
T : じゃ、カレーみたいですか？
I : うーん、す、少し違うけど、茶色と、なんとか、いっぱい、なんとか、うーん、ファーフアアっていう、と食べる、ブラジルの。
T : え、何と食べるんですか？
I : ぼく？
T : ううん、ファーフア…
I : あ、ファーフア。
豆とフェイジョアードとそういう、ご飯と。
T : うん、なるほどね、はい。
で、さっき好きなこと、サッカーとかね、いろいろ仰ってたけど、ほかに何かとっても好きなことってありますか？
I : あ、卓球。
T : ん？
I : 卓球。
T : 卓球ですか、ふーん、なるほど。
卓球のルールはちょっと易しいですよ。
I : あ、ん、まだ、覚えてるから。
でも…
T : ん？
I : 覚えてるから、まだ知りません。
T : 卓球はでも、あ、試合はしないんですか〈うん〉。
こう、やるのが好き〈うん〉。
そうですか。
ふーん、友だちとよく。
I : あの、先生と。
T : ふーん、そうですか。
えーと、【学校名1】、ここね、とても素敵なところですね〈うん〉。
どんなところがいちばん、あの一、えー、【I】さんにとって〈うん〉、あの、嬉しいところですか？
ここにいることが、はい。
I : ここに？
T : うん。
仲間がいる、たくさんいること、それともなんですか？
I : あー、な、こ、学校だけに、あの、友だちがいるから〈うん〉。
うーん、ここだけが来る…
T : あ、ここに友だちがみんな。
I : うん〈そうですか〉。
ほかの友だちはあんまり無いから〈ふーん〉。
隣人だけがある。
T : ん？
I : ブラジル人の隣人。
T : ふーん、ブラジル人だけいる〈うん〉。
そうですか。
じゃ、日本人のお友だちはいないですか？
I : いません。
T : そうですか、うんうんうん。
I : うーん、ひ、1ついたけど〈うん〉、もう知らない。
T : そうですか。
その人どんな人だったんですか？
I : にほ、日本人？

X009

- T: うん。
- I: あ, お, 女だった (ふーん)。
僕より年下。
- T: ふん, ふんふん, どんなところが良かったですか, その人?
どんな点が。
- I: 良かったことはあんまり {笑} ないから。
- T: ないですか (うん)。
あ, ただお友だちだった (うんうん)。
ふーん, そうですね, なるほどね。
えっと, 【I】さんは, あの, よく出かけたりもしますか, 友達, ここの?。
- I: あんまりしないから。
遠くに住んでるから。
- T: はー, じゃあ, 土曜とか日曜とかお休みは何をしているんですか?。
- I: あ, できれば, あの, お母さんは友だちの家に連れていく。
- T: ふん, あ, 時間あるときは (時間あるときは)。
はー, そこでどんなことするんですか?。
- I: なんとか, ゲームのコンシブレーションとか (うん), サッカーとか (ああ)。
ゲーム行く。
- T: ゲーム。
ゲームでとくにどんなこと, どんなゲームよくやるんですか?。
- I: あー, 戦うゲームとか (うん), 音楽のゲームとか。
- T: あー, 戦うゲームで, すごく面白いゲームっていまなんなんですか?。
- I: 名前?。
- T: うん。
- I: 【商標名】。
- T: 【商標名】 (うん)。
えー, ちょっと, わたしやったことないんで, どんなゲームか教えてください。
- I: 魔法とかいっぱいある (うん), スペシャルとか。
- T: そして?。
もうちょっと詳しく教えてください。
- I: あの, す, あの, ストーリーがあんまりないから (うん), あの, なんか, ただ, たったかう [戦う] だけ。
- T: ただ戦うだけ (うん) のどうしておもしろいんですか?。
- I: あー, なんか, 僕はちょっと, 得意から, それ, もしたい (うん)。
勝つは, 勝つのが好きだから。
- T: ん?。
- I: 勝つのが好きだから。
- T: 勝つのが好き。
でも負けることもありますよね。
- I: あ, 友だちと負けることはないから {笑}。
- T: 強いんですね, へー。
- I: 友だちとはね。
でも (え), 1人ではあんまり。
- T: あー, で, えと, 将来はなんでしたっけ, 夢は?。
- I: あの, エンジニアなる。
- T: エンジニアでしたね。
どうしてエンジニアになりたいんですか?。
せっせきなイメージする…
- I: あの, 数学, 数学が好きから (うん)。
それだけが, す, できるかも, しれない。
- T: ふーん, エンジニアにもいろんなエンジニアがあります, いますけど (うん), とくにどんな分野, どんな

X009

ことが？。

I : あの、家を作るエンジニアとか〈ほー〉、車のデザインとか。

T : ほ、ほー、なるほどねー。

え、家とか車〈車〉。

じゃ、ずいぶん違いますね〈うん〉。

どっちがいいんですか？。

I : あの、いちばんいいのは家だから。

T : あー、なるほど。

どんな家をやって、作っていきたいんですか？。

I : あの、日本の家がすごく、おもい、面白いから、なんか〈ふーん〉、い、岩がないでしょ、だから、石とか〈ふんふん〉、シメントがないから、セメント、セメント〈うんうんうん〉。

ブラジルはとっても違うだから〈ふーん〉。

ブラジルじゃない、石とか〈うん〉セメントとか〈うん〉いっぱいある〈うんうんうん〉。

日本は木の家だから、あの、地震があるときは、ブラジルに地震が無いから、必死で作る〈ふーん〉。

T : あの、日本の、じゃ、ビルとかじゃなくて、うちを建てたい〈うん〉、ですね。

で、えっと、日本の、えっと、木のうちじゃなくて〈うん〉、石のうちにいいですか？。

反対ですか？。

I : 木のうちは、もっと…

T : 好きだ〈うん〉。

あー、日本の木のうちにいいんですね。

I : うん、だから、もっと、あの、ブラジルの、石のうちはもっと冷たいから。

T : あー、なるほど。

ブラジルは石のうちだから〈うん〉。

なるほど、でも木のうちはいいですけど、地震のときに弱くないですか？。

I : あの、地震のときは、家、家の石だったら、なんか、汚れる〈ふーん〉、壊すとか。

T : あ、壊すときに？。

I : 壊す。

T : あー、なるほどね。

地震じゃなくて火事的时候は〈あー〉木より石のほうがいいですね。

I : 火事はすごく大変だと思う。

T : うーん、だから木のうちは今だんだん少なくなってませんか、日本で。

I : あー、家、あの、アパートで住んでるから。

T : ふーん、なるほど。

いいですね、いい夢があってね。

そうですか。

で、今は、えーと、高校生？。

I : うん、高校1年生。

T : ですよ、はい。

で、高校には制服はあるんですか？。

I : 制服？。

T : ユニフォームがありますか？

I : ある。

あの、下で、寒いから。

T : あ、はいはいはいはい。

で、えーと、制服、ユニフォームがない学校と〈うん〉、ある高校とありますよね〈うん〉。

【I】さんはどっちがいいですか？。

I : 制服あるは、いちばんいいと思う。

T : そうですか〈うん〉。

でも制服はあると、なんか、自分が着たい服で学校に行かれないですよ。

I : あ、でも、みんなも同じぐらいびんきょう〔勉強〕するとおもしろいな。

X009

でも違うのは、でも、き、なんて言うかな、、、〈うん〉、言葉ないかな。

T: こちばが。

えと、同じ服で勉強したほうがいいですか？。

I: うん。

T: どして？。

I: なんか、もっと、もっといい学校と見えるから。

T: ん、あ、学校が良く見える〈うん〉。

でも、学校は良く見えるかもしれないけど、一人ひとり自分の着たい〈うん〉色〈うん〉、デザインのほうが良くないですか？。

I: そうですね、でも、い、色、洋服が好きだから〈うーん〉、学校の。

T: なるほどね。

でも例えば、赤とか緑とか、それぞれ違う色のほうがきれいですね。

I: うん〈うん〉、あの、でも、みんなユニフォーム着て〈うん〉、なんか〈うん〉、もっと〈ふーん〉、きれいだと思う。

T: あー、なるほど。

そうですね、その考えもありますよね。

あの、この学校でいろんなイベントがありますよね〈はい〉。

あの、いろんなこと、行事、イベント〈はい〉。

何がいちばん、【I】さんにとって楽しいですか？。

I: あの、大学と、一番面白いかな。

でも大学のことを話すと〈うん〉、いっぱい〈うん〉ことを〈うん〉覚えて、それで学校にいつか。

T: え、大学のこと話すってのはどういうことですか？。

ちょっとそこ教えてください。

I: あん、どうやって勉強して、なんていうかな、何をするとか。

T: はー、ガイダンスですか〈うん〉、説明会？。

I: あ、はい。

T: よくやるんですか？。

I: あんまりしたことないかな。

でも2回だけ。

T: ふーん、え、あの、どんな内容ですか？。

ちょっと教えてください、そのガイダンスって。

I: あん、あー、エンジニア、エンジニアは、例えばエンジニアは何がしますとか〈うん〉、あの、あん、建築は、なにしますと〈ふんふん〉、それを教える。

T: ふーん、そして、えーと、教えて、えー、いろんな知識が入ってくる〈うん〉、うーん。

そこで決めたんですか、エンジニア、エンジニアなろうって。

I: あ、あー、もう、ずっと前に。

T: ふーん、どうして数学は好き、得意で好きなんですか？。

I: あの、簡単に覚えるから。

T: はー、頭いいですね。

I: はー、そんなことない。

T: ふーん、なるほど。

ほかに次に好きな科目ってなんですか？。

I: 次、物理。

T: あ、やっぱり理科系ですね。

へー、でも物理難しそうですね。

I: 物理はもっと簡単だから。

T: ほんとですか？。

物理のなかでとくに何が好きなんですか？。

I: 物理の？。

T: 電気とか、いや、ねー、いろいろありますよね。

X009

- I : あの、なんていうか、電気じゃないかな〈ふーん〉、いー、あの、エネルギーのこと。
- T : ふーん、あ、エネルギー〈うん〉。
で、えーと、じゃ、さっき、えー、今、高校2年で〈うん〉大学のことだけど、大学でいったい何を勉強したかって、もう決めてますか？。
- I : あ、まだ、決めてないです。
- T : ふーん、いろいろとあるんですか？。
- I : はい。
- T : ふん、ちょっとそれ教えてください。
- I : エンジニアだけがもう決めた〈はいはい〉。
もう、なんも、エンジニア、まだ決めていません。
家と車とかなんとかか…
- T : ただ、ま、家とね、車のエンジニアのあれがあるけど、まだ専攻は決めてない〈うん〉。
そうですか。
- I : だから、エンジニアいっぱいあるでしょ〈うーん〉。
まだ。
- T : うーん、で、うん、なるほどね、そうですか。
- I : 家と車だけがすごく、少し知ってる。
- T : うん、なるほどね、そうですか。
えーっと、群馬県はいろんな山があったり、いろんなところがあるんですけど、たまには出かけますか？。
- I : あー、出かけますね。
- T : ふーん、そうですか。
えーと、何歳のときに日本にいらしたんですか？。
- I : あの、9歳。
- T : 9歳ね。
- I : でも、前に、い、来たことはある〈ふーん〉。
1歳のときに〈ふーん〉、ここに来て〈ふん〉、それで〈ふん〉6歳にブラジルに帰って〈うん〉、それでここに来た。
- T : そうですか。
で、9歳で来たから、もう、全然、ペルー、ブラジル帰ってきた。
- I : ブラジル人のポルト、あ、日本語は〈うん〉おしゃべりなんです。
- T : うん、そうですか、はい。
今わたしがたくさん聞きましたので、今度は【I】さんが、反対になって、先生なって聞いてください、はい。
はい、わたしに聞いてください。
- I : はい、最初は自己紹介。
- T : あ、するんですか、はい、【T】と言います。
で、ちょっと、あの、時間がもったいないので、あんまり話しませんが、えーと、あの、日本語の教師をしています、はい。
- I : あー、教師ですか。
- T : 東京から来ました。
以上です。
- I : 東京。
あー、どんな学校に働きたい、働いていますか。
- T : はい、【学校名2】というところで働いています。
- I : 【学校名2】？。
- T : 【学校名2】です〈あー〉、はい。
- I : 何を教えてますか？。
- T : え？。
- I : 何を教えていますか？。
- T : えーと日本語を教えています、日本文化とか。

X009

- I : 日本語〈はい〉。
あー、文化。
- T : とかいろいろ教えています。
- I : 日本人に？。
- T : いえ、外国人です。
- I : 外国人。
あんまり、外国人はどっちがいちばん、あー、お、多いですか？。
- T : 韓国の人です。
- I : 韓国、あー〈はい〉。
難しいですか、韓国語。
- T : 韓国語は日本語と似ていますから易しいです。
- I : あー〈はい〉、ブラジル人はあんまりいますか？。
- T : えー、少しいます、はい。
- I : そっか。
あ、あん、東京から来たんですか？。
- T : はい、そうです。
- I : 東京に何が、おもしろいことがありますか？。
- T : 東京はですね、いろいろ珍しいものがいっぱいありますね {笑}。
- I : あ、なんか、アミューズメントはないか。
- T : アミューズメントはね、ちょっと、わたしは、あんまり、あの、はい、行かないので、はい {笑}。
- I : どこが東京に好きですか？。
ところ、好きなどころ。
- T : 東京の好きなどころ、いっぱいあって、ちょっと、わからないですね {笑}。
たくさんあり過ぎて、はい〈あー〉。
たぶん【I】さんは秋葉原ですね、きっとね。
- I : あー、東京に行ったことないから、まだ。
1回だけ行ったかな〈そうですか〉。
まだわからない。
- T : はい、わかりました。
えっと、【I】さんはロールプレイってやったことありますか？。
- I : ロールプレイングゲーム？。
- T : あー、ゲームでね。
- I : ゲームの種類。
- T : じゃなくてミニドラマって〈あ、ミニドラマ〉、【I】さんとわたしと一緒に、ちょっと2人で役を決めてやりましょう。
あの、自転車によく乗りますか？。
- I : じでんしゃ [自転車] に？。
- T : 自転車乗りますか？。
- I : あー、近くにお友だちがないから、できないんです。
- T : あ、自転車は全然使いませんか？。
- I : うん、全然使いません。
- T : 全然使いませんか、そうですか。
えっと、そしたらですね、あの、明日ね、えー、これからドラマしますよ。
わたしは、この【学校名1】の先生ですよ〈はい〉。
【T】先生ね。
明日どうしても【学校名1】を休まなければいけないことになりました。
- I : うん？。
- T : やす、休みます、明日〈あ、はい〉。
休みたいです。
いいですか。

X009

で、理由を説明して〈うん〉、【T】先生にオッケー、許可をもらってください〈あ、はい〉。
いいですか、はい、やってください、どうぞ、はい。

やりますよ、今からね。

その、読みましたけどね。

言いましたけど、いいですか〈あー〉。

明日どうしても学校を休まなければなりません。

理由を説明して先生に許可をもらってください。

このドラマやりますね。

はい、どうぞ。

I : あの、明日、すごく大事の、大事な予定があるから、学校に休めば、休みていいですか？。

T : えーと、【I】さん、明日試験だけど。

ちょっと困りますけど、なん、どんな用事ですか？。

I : あの、家族のことだから、なんか、話にくいから。

T : ふーん、どうしても明日じゃないとだめなの、その用事は？。

I : うん、明日だけができるから。

T : 試験どうする？。

I : あ、試験はほかの日にや、やっちゃいけないですか？。

T : 試験、ま、でも明日みんな全部一緒にやりたいんだけどね。

I : でも、先にやっていいですか？。

T : 先はだめですね、うん。

I : では、どうしますか。

T : じゃ、あとで明日、遅く来ることができますか、夕方？。

I : うん、はい〈うん、うん〉。

夜にで、できるかな。

T : 夜は困りますね。

I : うん、何時ぐらいにでき…

T : 4時とか来られますか？。

I : 4時。

5時、5時はできないんですか、5時？。

T : うーん、じゃ、ちょっとほかの先生とも相談してみますけど〈はい〉、もう1回聞きますけど、えっと、ま、家族のことだから言いにくいけど、どんな関係の〈あの〉、どんなことか、ちょっとだけ言ってください。

I : あの、おじいさんは、なんとか、ちょっと死にそうだから。

T : あ、そうですか。

あー、わかりました。

じゃ、ちょっとね、そんな大変なことだったらね、お大事にどうぞ、はい。

オッケーです、はい {笑}。

I : ありがとうございます。

T : えーと、【I】さんは学校は休むことはたまにあるんですか？。

I : はー、あんまりないです〈あー、そうですか〉。

だから学校に休む、休むたら、いろんなことは覚えていないから。

T : はー、病気でも来ますか？。

I : 来ます。

T : 素晴らしい。

ね、大学までもう少し、ね、あと2年、1年、あー、あと1年ちょっとですね〈はい〉。

頑張っ、ね、エンジニアのね、あの、あれを目指して頑張ってください。

今日はどうもありがとうございました。

I : ありがとうございます、ありがとうございます。